

平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年8月10日

上場会社名 株式会社 セレスポ

上場取引所 大

コード番号 9625 URL <http://www.cerespo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 稲葉 利彦

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 村田 修一

四半期報告書提出予定日 平成24年8月13日

TEL 03-5974-1111

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	1,878	43.8	25	—	20	—	10	—
24年3月期第1四半期	1,306	△16.1	△140	—	△102	—	△20	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	1.85	—
24年3月期第1四半期	△3.69	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	6,572	3,550	54.0	647.39
24年3月期	6,662	3,592	53.9	654.96

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 3,550百万円 24年3月期 3,592百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	6.00	6.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年 3月期の業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,600	9.2	△65	—	△44	—	△21	—	△3.83
通期	7,700	1.9	60	30.1	100	△26.4	50	△41.6	9.12

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期1Q	5,703,500 株	24年3月期	5,703,500 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

25年3月期1Q	218,749 株	24年3月期	218,642 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	5,484,794 株	24年3月期1Q	5,486,652 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続を実施しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、上記業績予想に関する事項は添付資料3ページ「1.当四半期の業績等に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報.....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報.....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報.....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項.....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有な会計処理.....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要.....	3
4. 四半期財務諸表.....	4
(1) 四半期貸借対照表.....	4
(2) 四半期損益計算書.....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記.....	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	7
5. 補足情報.....	7
(1) 部門別売上高.....	7

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要等を背景に景気は緩やかながら回復基調が見られるものの、一方で欧州債務問題等による海外経済の低迷や長期化する円高の影響などにより先行き不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社では今期より開始した「中期経営計画」に基づき、会場設営を中心とする運営体制から、イベント・プロモーションの総合請負企業へと発展・拡大する戦略を打ち出し、企画・制作・運営機能を含む総合的な機能を充実させた、いわゆる「イベントソリューションパートナー企業」を目指して、収益性の向上に取り組んでおります。

売上高に関しましては、震災復興需要等もあり、総じて各部門が順調に推移して大幅な増収となりました。

利益に関しましては、売上高の増加に伴って売上総利益が増加し、営業利益、経常利益、四半期純利益とも黒字となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は1,878百万円(前年同期比43.8%増)、営業利益は25百万円(前年同期の営業損失は140百万円)、経常利益は20百万円(前年同期の経常損失は102百万円)、四半期純利益は10百万円(前年同期の四半期純損失は20百万円)となりました。

各部門別の状況は次のとおりであります。

[セールスプロモーション]

展示会・販売促進等の増加により売上高は424百万円と前年同期比58.0%の増収となりました。

[コンベンション]

記念式典・パーティー等の増加により売上高は405百万円と前年同期比51.1%の増収となりました。

[スポーツ]

日本陸上選手権大会、国民体育大会馬術競技大会(リハーサル)の継続受注に加え、その他スポーツイベントの増加により売上高は377百万円と前年同期比23.3%の増収となりました。

[セレモニー]

地鎮祭・竣工式等の増加により売上高は367百万円と前年同期比52.0%の増収となりました。

[フェスティバル]

地域振興イベント等の増加により売上高は228百万円と前年同期比64.7%の増収となりました。

[レクリエーション]

運動会の増加等により売上高は60百万円と前年同期比92.8%の増収となりました。

[その他]

テントの売渡し・貸し出しの需要が減少したことにより、売上高は14百万円と前年同期比72.1%の減収となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期会計期間末の資産は前事業年度末に比べて89百万円減少し、6,572百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金が197百万円増加したものの、現金及び預金が229百万円減少し、投資その他の資産に対する貸倒引当金が39百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債は前事業年度末に比べて48百万円減少し、3,021百万円となりました。これは主に買掛金が62百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産は前事業年度末に比べて41百万円減少し、3,550百万円とな

りました。これは主に利益剰余金が 22 百万円、その他有価証券評価差額金が 18 百万円、それぞれ減少したことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当第 1 四半期累計業績は、震災復興需要等もあり順調に推移したものの、第 2 四半期以降、不透明な事業環境が続くものと予想されることから、第 2 四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、現時点では平成 24 年 5 月 15 日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有な会計処理

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、当第 1 四半期会計期間より、平成 24 年 4 月 1 日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。これによる営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	789,923	560,436
受取手形及び売掛金	1,120,719	1,317,965
有価証券	27,074	27,079
原材料及び貯蔵品	20,037	20,254
未成請負契約支出金	32,089	24,211
その他	114,675	123,244
貸倒引当金	△38,901	△27,521
流動資産合計	2,065,619	2,045,670
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	402,021	397,431
土地	3,310,250	3,310,250
その他(純額)	146,306	137,689
有形固定資産合計	3,858,578	3,845,370
無形固定資産	44,732	41,260
投資その他の資産		
その他	753,541	739,784
貸倒引当金	△60,280	△99,534
投資その他の資産合計	693,261	640,250
固定資産合計	4,596,572	4,526,881
資産合計	6,662,192	6,572,552

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	734,644	672,213
短期借入金	300,000	500,000
未払法人税等	29,919	10,430
賞与引当金	51,975	64,559
1年内返済予定の長期借入金	690,232	615,271
その他	386,194	459,405
流動負債合計	2,192,965	2,321,880
固定負債		
長期借入金	608,114	483,547
退職給付引当金	70,170	70,812
役員退職慰労引当金	51,612	35,550
資産除去債務	40,940	40,988
その他	106,040	68,991
固定負債合計	876,878	699,889
負債合計	3,069,843	3,021,769
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,370,675	1,370,675
資本剰余金	2,155,397	2,155,397
利益剰余金	184,888	162,100
自己株式	△62,277	△62,293
株主資本合計	3,648,683	3,625,879
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△56,335	△75,097
評価・換算差額等合計	△56,335	△75,097
純資産合計	3,592,348	3,550,782
負債純資産合計	6,662,192	6,572,552

(2) 四半期損益計算書
第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	1,306,766	1,878,617
売上原価	916,600	1,304,099
売上総利益	390,166	574,517
販売費及び一般管理費	530,360	548,538
営業利益又は営業損失(△)	△140,194	25,979
営業外収益		
受取配当金	32,467	12,664
受取保険金	—	7,931
貸倒引当金戻入額	8,156	—
その他	1,722	2,258
営業外収益合計	42,347	22,854
営業外費用		
支払利息	4,335	4,777
貸倒引当金繰入額	—	23,797
営業外費用合計	4,335	28,575
経常利益又は経常損失(△)	△102,183	20,258
特別利益		
有価証券売却益	10,925	—
投資有価証券売却益	6,762	—
退職給付制度終了益	109,279	—
特別利益合計	126,966	—
特別損失		
投資有価証券売却損	12,218	—
固定資産除却損	72	326
投資有価証券評価損	—	984
特別損失合計	12,291	1,310
税引前四半期純利益	12,491	18,947
法人税、住民税及び事業税	5,371	6,232
法人税等調整額	27,357	2,594
法人税等合計	32,728	8,826
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△20,237	10,120

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

5. 補足情報

(1) 部門別売上高

当社の事業は、イベント総合請負業並びにこれらの関連業務の単一事業セグメントであります。従いまして、開示対象となるセグメントはありませんが、部門別の売上高は次のとおりです。

(単位：千円、%)

部 門	主要内容	当第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	
		金 額	前年同期比
セールスプロモーション	展示会・見本市	424,888	158.0
コンベンション	記念式典・会議	405,197	151.1
スポーツ	ゴルフ・国体・インターハイ	377,288	123.3
セレモニー	地鎮祭・竣工式	367,546	152.0
フェスティバル	市民祭・産業祭	228,912	164.7
レクリエーション	運動会・納涼祭	60,448	192.8
その他	資材の貸出	14,334	27.9
合 計		1,878,617	143.8

(注) 1. 上記金額には消費税は含まれておりません。

2. 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。